



# ヨーバル<sup>®</sup>トツプ

箱粒剤

# いもち病も、 主要害虫も、 強カブロック!



- 高密度播種に高い適用性
- 新規殺虫剤「ヨーバル」含有
- は種前から移植当日まで使用可能

慣行播種  
箱当り  
50~75g

高密度播種  
箱当り: 50~100g  
(1kg/10aまで)



® ヨーバル、® ルーチンはバイエルグループの登録商標



いもち病



白葉枯病



イネミスゾウムシ



イネドロオウムシ



ニカメイチュウ



イナゴ類  
(コバネイナゴ)



製品情報はこちら



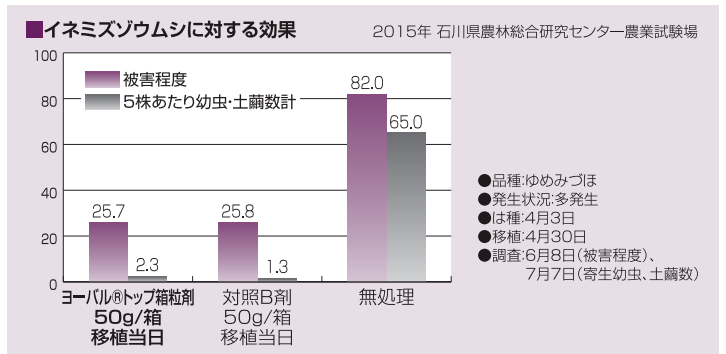
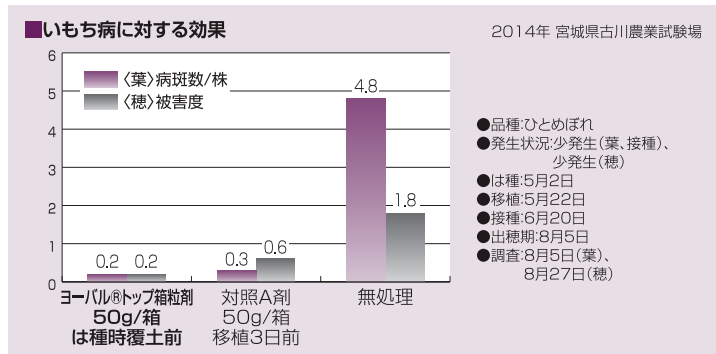
- 1 新規殺虫剤「ヨール<sup>®</sup>」と、水稻病害防除の定番「ルーチン<sup>®</sup>」を配合。**  
 ●新しいジアミド系殺虫剤「ヨール<sup>®</sup>」(有効成分:テトラニプロロール)は、水稻の初期害虫やチョウ目害虫などの主要害虫に優れた効果を発揮します。  
 ●いもち病防除の定番「ルーチン<sup>®</sup>」(有効成分:イソチアニル)は、既存薬剤耐性菌を含むいもち病に安定した効果を発揮します。
- 2 は種前、は種時から移植当日まで使用可能。**  
 覆土、床土混和、は種時覆土前から移植当日までの幅広い時期で処理が可能です。
- 3 高密度播種へ高い適用性。**  
 高密度播種の場合、10a当りの育苗箱枚数にあわせて育苗箱当りの使用量を50~100g/箱で処理でき、安定した防除効果が期待できます。  
 (\*ただし10a当りの処理量は最大1kg/10aです。)
- 4 慣行播種でも、50~75g/箱の範囲で使用可能。**

**適用病害虫および使用方法** (2021年11月現在)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	総使用回数*	使用方法
稲(箱育苗)	苗腐敗症(もみ枯細菌病菌) 苗立枯細菌病	育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り50~75g	は種前	本 剤:1回 テトラニプロロール:1回 イソチアニル:3回 (移植時までの処理は1回、 本田では2回)	育苗箱の床土 または 覆土に均一に混和する
	穂枯れ(ごま葉枯病菌) イネヒメハモグリバエ		は種時(覆土前)		育苗箱の上から 均一に散布する
	いもち病、白葉枯病 内穎褐変病、もみ枯細菌病 イネドロオイムシ、ツマグロヨコバイ コブノメイガ、イネツトムシ ニカメイチュウ、イネミスゾウムシ フタオビコヤガ、イナゴ類		移植3日前 ~移植当日		育苗箱の上から 均一に散布する
	苗腐敗症(もみ枯細菌病菌) 苗立枯細菌病	高密度に は種する場合は 1kg/10a(育苗箱 (30×60×3cm、 使用土壌約5ℓ) 1箱当り50~100g)	は種前		育苗箱の床土 または 覆土に均一に混和する
	穂枯れ(ごま葉枯病菌) イネヒメハモグリバエ		は種時(覆土前) ~移植当日		育苗箱の上から 均一に散布する
			は種時(覆土前)		育苗箱の上から 均一に散布する

\*印は収穫物への残留回避のため、本剤およびそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

**試験成績**



**注意事項**

- 本剤を床土または覆土に混和処理する場合、処理後速やかに使用して下さい。また本剤を処理した床土または覆土を放置しないで下さい。
- 育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ)1箱当りに乾粒として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整して下さい。
- 軟弱徒長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗などには葉害を生じるおそれがあるので注意して下さい。
- 本田の整地が不均整な場合は、葉害を生じやすいので、代かきを丁寧に行い、移植後田面が露出しないように注意して下さい。
- いぐさ栽培予定水田では使用しないで下さい。また、本剤を処理した稲苗を移植した水田ではいぐさを栽培しないで下さい。
- さく等の他作物に影響を及ぼす場合があるので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように散布して下さい。また、土壌全面に不透水性無孔シートを敷くなど、薬剤処理後の灌水による土壌への浸透をさせて下さい。
- 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 誤食などのないよう注意して下さい。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けて下さい。
- 使用の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用して下さい。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換して下さい。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯して下さい。
- かぶれやすい体質の人は取扱いは十分に注意して下さい。
- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意して下さい。
- 散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないで下さい。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理して下さい。
- 直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所を密封して保管して下さい。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。